

グループ通信

group tsushin. vol.22

Shop Regrand Open

2024
vol.22



ごあいさつ [P2](#)

グループ最新トピックス [P3](#)



特集 1

ダイナム北陸3店舗が
地域一番店を目指してフルリニューアル [P4](#)

Support to local.



group company



特集 3

グループ会社紹介 [P8](#)
ビジネスパートナーズ

特集 2

社会貢献活動 [P6](#)

三陸・常磐もの食材を全国の子ども食堂へ



NEWSハイライト [P10](#)

DYJH決算情報 [P12](#)

DYJHグループからのお知らせ [P14](#)

Message

ごあいさつ

地権者様、お取引先の皆様をはじめとする信頼関係者の皆様には、
常日頃よりダイナムジャパンホールディングスグループ(以下、「DYJHグループ」という)の事業活動に、
ご理解と多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年におきましては、7月31日に株式会社敬愛(本社:岐阜県岐阜市)が経営する
パチンコホール5店舗、次いで12月1日に株式会社ハワイ(本社:三重県志摩市)が経営する
パチンコホール2店舗の営業権を吸収分割により取得し、グループ店舗数は436店舗となりました。
一つひとつの店舗が地域と共生し、DYJHグループのビジョンである
「パチンコを誰もが気軽に楽しめる日常の娯楽に改革する」
継続的に取り組んでまいります。

このたび、直近半年間のDYJHグループの動きをまとめ、
ぜひ、ご高覧いただき、ご理解を深めていただければ幸いです。

株式会社ダイナムジャパンホールディングス
取締役会議長 兼 代表執行役



グループ通信 vol.22 Contents

- 02 ごあいさつ
- 03 グループ最新トピックス
- 04 ダイナム北陸3店舗が地域一番店を目指してフルリニューアル
- 06 社会貢献活動
三陸・常磐もの食材を
全国の子ども食堂へ
- 08 グループ会社紹介
株式会社ビジネスパートナーズ
- 10 NEWSハイライト
- 12 2024年3月期中間決算情報
- 14 DYJHグループからのお知らせ

グループ最新トピックス

株式会社ハワイが経営する 2店舗の営業権を取得

DYJHグループは「パチンコを誰もが気軽に楽しめる日常の娯楽に改革する」
というビジョンを掲げ、チェーンストア経営に基づく
多店舗展開・店舗数拡大に取り組んでおります。

このたび、株式会社ハワイが経営する
「パチンコ チェリー」「PAO」の2店舗を12月1日をもって
事業承継する運びとなりました。今回の営業権の取得により、
ダイナムの店舗数は399店舗、DYJHグループの店舗数は436店舗となりました。

(※株式会社ダイナムの一員となりました。)

これまで同店が培ってきた、地域密着型・お客様志向のサービスを、
さらに発展させ多様なお客様ニーズに対応できる店舗づくりを目指していきます。

店舗名 パチンコチェリー



所在地 三重県志摩市
阿児町鷺方393番地77
総台数 458台
(パチンコ347台/パチスロ111台)
効力発生日 2023年12月1日

店舗名 PAO



所在地 三重県志摩市阿児町鷺方
2918番地3
総台数 529台
(パチンコ350台/パチスロ179台)
効力発生日 2023年12月1日

01 ダイナム店舗紹介

Renewal!



ダイナム北陸3店舗が地域一番店を目指してフルリニューアル

2023年10月21日(土)石川小松店・福井丸岡店・武生店の3店舗が同日リニューアルオープンを果たしました。オープン初日の様子をレポートします!

石川小松店

- 住所:石川県小松市
- スロット37台増床
- パチンコ360台
- スロット197台
- [総台数] 520台→557台



福井丸岡店

- 住所:福井県坂井市
- スロット41台増床
- パチンコ320台
- スロット243台
- [総台数] 522台→563台



武生店

- 住所:福井県越前市
- スロット39台増床
- パチンコ320台
- スロット229台
- [総台数] 510台→549台



開店前の整理券配布から多くのお客様にご来店いただき、リニューアル当日は3店舗ともに大いに盛り上がりました。新しくなった店内デザインや新設備は、お客様にも大好評で、今後の営業に期待する声が多く寄せられました。

RENEWAL POINTS

お客様のニーズに対応するため、スロットコーナーを大幅に拡大しました。内外装もフルリニューアルして店舗のイメージも一新しました。



景品カウンターは店舗の中央へレイアウトを変更



スロットエリアには人気のスマート遊技機(スロスロ)を設置



PICK UP

ユニバーサルデザイン

お客様に見やすく、わかりやすく、使いやすいがテーマにスタイリッシュなデザインを展開



だれでもトイレ



LGBTQ+に配慮したデザイン



福井丸岡店
ストアマネジャー
中川 互

福井丸岡店は2004年に設立し地域に根差した営業を行ってきました。このたび、店内の壁や床、塗装を施すなどの大胆な見た目の刷新を行いお客様が持つダイナムのイメージを改めていただくとともに、来店される全てのお客様にとって遊びやすい環境を整備するためにリニューアルを実施しました。今後も地域一番の店舗を目指し、地域の皆様のニーズにお応えできるよう、努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



みんなで
食べると
楽しいね!



三陸・常磐もの食材を全国の子ども食堂へ

DYJHグループは、地域社会との連携と協調を図り、地域社会の発展に貢献します。
今回は、ダイナムの7月創業月間に実施した、東日本大震災の復興支援「子ども食堂への三陸・常磐もの食材の提供」についてご紹介します。

このたびの活動では、全国29都道府県の子ども食堂53施設に対して、総額1,157,200円(6,295食)分の「三陸・常磐もの食材」を寄贈いたしました。

寄贈食材を「魅力発見! 三陸・常磐ものネットワーク」から購入することで、店舗周辺への地域貢献とともに、東日本大震災にて被災した地域の本格的な復興支援につなげてまいります。



魅力発見! 三陸・常磐ものネットワークとは

東日本大震災の被災地の本格的な復興に向けて、「三陸・常磐もの」の魅力発信・消費拡大を図る官民連携プロジェクトです。当プロジェクトには2023年2月に加盟し、当社社員食堂での「三陸・常磐ランチ」提供や子ども食堂への寄贈などを行い活動を支援しております。



社員食堂では好評につき予定の数量が即完売!



社員食堂では週替わりで「三陸・常磐ランチ」を提供



各施設で提供したメニューは、三陸・常磐で水揚げ(または加工)された「さんまフライ」「しらすコロケ」「ぶりの甘酢あんかけ」「サバ味噌煮」の4品目です。いずれの食品も半年以上の冷凍保存が可能であるため、各施設の任意のタイミングで利用者への提供が可能です。なお、この取り組みは、現在も全国各地で継続して取り組んでいます。



ビジネスパートナーズ

株式会社ビジネスパートナーズ
Business Partners Co., Ltd.



- 会社名** 株式会社ビジネスパートナーズ
所在地 〒125-0042 東京都葛飾区金町6-5-8
従業員数 36名 うち、障がいのある従業員22名
 (知的16名・精神4名・身体2名)
事業内容
- ① オフィス清掃等
 - ② さをり織りバッグや小物等の制作・販売
 - ③ 就労支援事業所「あさひ」の運営
 - ④ 共同生活援助事業所「わかば」の運営

特例子会社
障がいのある方の
直接雇用

ノーマライゼーション
社会の実現に向けて

あさひ
就労
支援事業所

わかば
共同生活
援助事業所

PICKUP 01 オフィス清掃・さをり織り製品の制作と販売

ビジネスパートナーズ運営部は葛飾区金町と荒川区西日暮里の2カ所に事業所があり、障がいのある従業員を含め、様々な従業員がDYJHグループ会社のオフィス・共用施設の清掃や、グループ会社間で流通する書類の仕分け作業等の業務に従事しています。

また、金町事業所では「さをり織り」の生地を織り、その生地を使ったバッグやポーチなどの雑貨の制作等を行っています。さをり織り製品については、「たんぼの丘」ブランドとして、イベント・催事での外部販売のほか、インターネットでの販売も行っています。



PICKUP 02 あさひ・わかばの運営

あさひ
就労支援事業所(就労移行支援・就労継続支援B型)

「仕事(生産活動)を通して社会参加をする」をコンセプトに、障がいのある方への日中活動の場としてサービスを提供しています。仕事(生産活動)を通じて利用者の方々が「働く姿勢」を身に付けることが就職につながると考え、OJT方式による支援を実施しています。

「ノーマライゼーション*社会の実現」を目指し、民間企業のノウハウを活かした、地域協働型支援を実施しています。



わかば
共同生活援助事業所(グループホーム)

就職した障がいのある方の生活支援に重点を置いて設立されたグループホームです。わかばは自立した生活を目指すために「自己選択」・「自己決定」・「自己責任」を基本コンセプトとして障がいのある方の自立を支援しています。

共同生活の場で健康管理や日常生活管理を通して、継続して働ける力を獲得できるように支援します。



ハンディキャップの有無に関わらず、喜びや苦勞を分かち合い、“障がいがある方が隣にいることが当たり前”な社会の実現を目指したい。

代表取締役社長
佐藤 智弘

株式会社ビジネスパートナーズは、障がいがある方の直接雇用を目的としたダイナムジャパンホールディングスの特例子会社として2011年1月に設立され、身体障がいのある方、知的障がいのある方、精神障がいのある方を含め、様々な方がオフィス清掃や「さをり織り」の制作等の業務に従事しています。

また、障がいのある方の就職や日中活動を支援する事業として、2016年4月に就労支援事業

所「あさひ」を設立し、運営を開始しました。更に、障がいのある方の自立を支援する事業として、2018年5月に共同生活援助事業所「わかば」を設立し、運営を行っています。

株式会社ビジネスパートナーズは、障がいがある方の「直接雇用」・「就労支援」・「共同生活援助」を展開する全国でも数少ない特例子会社です。今後も「ノーマライゼーション*社会の実現」に向け、一層の努力をしております。



*障がい者と健常者お互いが特別に区別されることがなく社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方のこと



DYJHグループ 最新動向をチェック!

NEWS

1

令和5年豪雨災害の 復興支援として約920万円を寄付

ダイナムは、「令和5年台風2号」および、「令和5年7月豪雨災害」によって被災された地域の方々への復興支援として、総額9,195,884円の義援金を寄付いたしました。この支援活動は、被災周辺地域のダ

イナムに来店されたお客様よりお預りした玉・メダル相当額を寄付するものです。災害発生直後には、従業員が被災地を訪問してボランティア活動も実施しております。



被災家屋の片付け
ボランティア

寄付先	寄付日	対象店舗数	寄付金額
秋田県	2023年10月30日	53店舗	4,923,139円
埼玉県	2023年9月28日	7店舗	516,195円
静岡県	2023年9月7日	7店舗	572,509円
和歌山県	2023年9月28日	7店舗	772,043円
山口県	2023年10月30日	12店舗	2,411,998円
合計		86店舗	9,195,884円

NEWS

2

ダイナムPB機 [満開爛漫]ホールデビュー

2023年10月2日、DYJHグループのプライベートブランド(PB)遊技機、ごらくシリーズ最新作「PA満開爛漫GO」が、全国のグループ店舗へと導入されました。導入台数はグループ合計1,950台となっており、遊技機メーカー豊丸産業株式会社への製造委託により商品化しております。ビジョンである「パチンコを日常

の娯楽に改革する」をメインコンセプトに据え、既存ファンのみならず、過去に遊技を止められた方や、パチンコ未経験者の方々にもお楽しみいただけるよう様々な趣向を凝らしております。今後もお客様に最も近いホール企業として、顧客視点に立った製品開発を実施してまいります。



全日本選手権

1

CHAMPIONS



NEWS

3

つくえ りゅうのすけ ダイナム所属 机龍之介選手が スカッシュ全日本大会を連覇達成

2023年11月16日~19日、神奈川県横浜市の商業施設トレッサ横浜にて開催された「文部科学大臣杯争奪 第52回全日本スカッシュ選手権大会」において、ダイナム所属選手の机龍之介選手が、3年連続、通算8度目の優勝を果たしました。

全日本スカッシュ選手権大会は、今シーズンにおける国内ランキング上位者のみが出場できる国内最高峰の大会です。当社は日本スカッシュ協会のオフィシャルスポンサーとして同大会を2014年

より応援しております。これからもスカッシュの普及、発展のお手伝いをしてまいります。

躍動感ある

スカッシュの大会!!



机龍之介'S COMMENT

今大会には3連覇、8度目の優勝がかかっていましたが、プレッシャーを感じることなく普段通りプレーすることができました。決勝ではPSAの海外ツアーで培ってきたものを発揮するだけだと思い試合に臨みました。最後まで集中を切らすことなく、良い結果につなげることができて大変嬉しく思います。今後の目標は、5年後のロサンゼルスオリンピックです。出場することだけでなく、しっかりとメダルを獲得できるように、一日一日を大切に過ごし、そして一年一年を積み上げていきたいと思っています。今後も応援のほど、宜しくお願いいたします。



NEWS

4

モーリーズ5兄妹が ゆるキャラサミットで大活躍!!



2023年11月11日~12日の2日間、埼玉県羽生市の商業施設イオンモール羽生、下川崎公園にて開催された「世界キャラクターさみっとin羽生2023」にDYJHグループ公式キャラクターのモーリーズが参加しました。当イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け2020年、2021年は開催を延期。昨年よりリアルでの再開を果たし、今回からフルボ

リュームでの開催となりました。全国各地より151体のキャラクターが参加してイベントを大いに盛り上げました。モーリーズ5兄妹でのイベント参加は2016年以来、7年振りとなりました。



2024年3月期 中間決算情報

Financial Information

DYJHグループ2024年3月期中間決算情報をお知らせいたします。香港証券取引所上場規則ののっとり、国際財務報告基準 (IFRS) に基づいた決算報告となっております。

連結損益計算書 (IFRS)

(単位:百万円)

	当中間期 (2023/9)	前中間期 (2022/9)	増減	補足説明
営業収入	64,375	56,195	+8,180	
パチンコ事業収入	62,187	55,150	+7,037	高貸玉店舗 29,246(+2,187) 低貸玉店舗 32,941(+4,850)
航空機リース事業収入	2,188	1,045	+1,143	
パチンコ事業費用	59,208	52,246	+6,962	遊技機償却費の増加 +5,990 水道光熱費の増加 +320 店舗運営人件費の減少 ▲209 修繕費の増加 +687
航空機リース事業費用	1,322	669	+653	
一般管理費	2,144	2,048	+96	
その他収入	3,963	4,950	▲987	前中間期:長野飯店店 立退補償金(リニア)受取 817
その他費用	1,264	2,301	▲1,037	店舗減損損失の減少 ▲651
営業利益	4,400	3,881	+519	
金融収益	419	173	+246	
金融費用	1,895	1,736	+159	
税引前中間利益	2,924	2,318	+606	
中間利益	1,874	1,183	+691	
EBITDA	26,763	19,939	+6,824	

(注) EBITDAは、中間利益に金融費用、税金、減価償却費(使用権資産償却費を除く)、為替差損益を加えて計算しております。

決算概況

当中間期におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かい、国内における行動制限や海外からの入国制限の緩和等による人流の回復が見られるなど景気は緩やかな回復基調にあります。一方、地政学リスクの長期化、世界的なインフレの進行など先行き不透明な状況が継続しています。パチンコ業界においては、店舗の休業、廃業は継続しているものの、昨秋より、導入が開始されたスマートスロット機の稼働が堅調に推移するなど回復傾向が鮮明になっております。

当社グループにおきましては、スマートスロット機導入後の稼働状況を踏まえ、多数店舗においてスロット機の増台

に取り組んだことで、営業収入は増収となり、利益面においても遊技機の減価償却費や電気代の上昇、改装に伴う諸経費を吸収し増益で着地しております。また、当中間期において吸収分割の手法により5店舗を新たに事業承継しており、今後も様々な手法で店舗数拡大を図り収益力強化に努めてまいります。航空機リース事業につきましては、今期より機体管理を内製可能とする体制整備に取り組んでおり、今後、自社保有の機体に加え他社が保有する機体管理を手掛けることで収益拡大を目指してまいります。なお、株主の皆様への中間配当につきましては、1株当たり2円50銭とさせていただきます。

連結財政状態計算書 (IFRS)

(単位:百万円)

	当中間期末 (2023/9)	前期末 (2023/3)	増減	当中間期末の主な内訳・前期末からの増減等			
				科目	当中間期末	前期末	増減
資産合計	354,117	325,608	+28,509	航空機	72,437	41,130	+31,307
				遊技機	35,814	36,281	▲467
				その他有形固定資産	71,328	69,465	+1,863
				使用権資産	83,866	76,741	+7,125
				現金及び預金	44,090	59,605	▲15,515
負債合計	221,682	197,181	+24,501	リース負債	98,767	91,697	+7,070
				未払金・未払費用	14,390	14,732	▲342
				有利子負債	87,607	72,167	+15,440
資本金	15,000	15,000	-				
剰余金等	117,435	113,427	+4,008	中間/当期利益 (親会社帰属利益)	1,873	1,806	+67
				前期末配当支払額	▲1,783	▲3,669	+1,886
資本合計	132,435	128,427	+4,008	連結自己資本比率	37.4%	39.4%	▲2.0
負債及び資本合計	354,117	325,608	+28,509				

連結有利子負債

(単位:百万円)

	当中間期末(2023/9)	比率	前期末(2023/3)	比率
現金及び預金	44,090	12.5%	59,605	18.3%
有利子負債合計	87,607	24.7%	72,167	22.2%
ネットキャッシュ	▲43,517	▲12.2%	▲12,562	▲3.9%
資産合計	354,117	100.0%	325,608	100.0%

連結自己資本比率

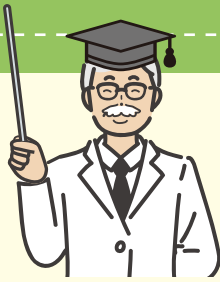
(単位:百万円)

	当中間期末(2023/9)	比率	前期末(2023/3)	比率
資本金	15,000	4.2%	15,000	4.6%
剰余金等	117,435	33.2%	113,427	34.8%
資本合計	132,435	37.4%	128,427	39.4%
資産合計	354,117	100.0%	325,608	100.0%

配当額

	当中間配当	前期中間配当	前期末配当
配当基準日	2023年12月14日	2022年12月13日	2023年6月5日
1株当たり配当金	2.5円	2.5円	2.5円
配当金総額	1,762百万円	1,791百万円	1,783百万円
配当金支払日	2024年1月12日	2023年1月13日	2023年6月23日

教えて博士! 相続制度について改正点を学ぼう



今回は来年4月1日から始まる相続登記義務化からよくあるケースを特集いたします。相続登記の義務化で何がかわるのか? 最近の事例では遺産分割協議が進まずに長期化することの解決策につながる改正見直しについて解説いたします。

1 妹と遺産分割もまとまらないし登記も面倒だわ
このままでも土地の賃料は変わらず入るんだからそのままでもいいんじゃないか

2 登記しておかないと罰則もあるのか!?

3 この前、ニュースで見たら法改正があって登記義務化が話題になってるぞ
そうなの? 止まっている賃料も気になるし、急いでダイナムビジネスサポートさんに確認してみるわ

4 DYJHグループでは相続登記未完了で長期化している場合、地代は供託しております。但し、供託金還付手続きは承継人で対応する手間等が発生いたしますので、登記手続きはお早めにご対応いただくことを推奨しています

近年、相続しても不動産の遺産分割協議や土地の名義変更をせずに放置される事例が増加し、所有者不明土地が数多く発生して社会問題化していました。昨年の法改正に伴い、**相続開始時から10年経過した後は、法定相続分又は指定相続分を分割の基準とし、具体的相続分を適用しないこと**となりました。



法定相続分

適用
法律が定めた遺産の取り分



指定相続分

適用
遺言によって指定された遺産の取り分



具体的相続分

不適用
個別事情(亡くなるまで介護をした等)を考慮した遺産の取り分

Topics



具体的相続分が適用になるケース

- 10年経過前に、相続人が家庭裁判所に遺産の分割請求をした時。
- 10年の期間満了前6か月以内に、遺産分割請求をすることができない事由が相続人にあった場合で、事由消滅時から6か月経過前に当該相続人が家庭裁判所に遺産の分割請求をした時。
- 相続人全員が具体的相続分による遺産分割することに合意した場合。

相続登記義務化は令和6年4月1日から施行されます

※法改正後は過料対象になることが要注意となります。



相続で不動産取得を知った日から3年以内に正当な理由がなく登記・名義変更手続きをしないと10万円以下の過料の対象となる。

遺産分割協議がまとまらないなど3年以内に相続登記ができない可能性があれば、相続後の相続人申告登記の申出や相続前の遺言書作成、家族信託などの対策を検討する。

※正当な理由とは
(1)相続登記を放置したために相続人が極めて多数に上り、戸籍謄本等の必要な資料の収集や他の相続人の把握に多くの時間を要するケース (2)遺言の有効性や遺産の範囲等が争われているケース (3)申請義務を負う相続人自身に重病等の事情があるケース

住所変更した場合も不動産登記が義務化され、2年以内に正当な理由がなく手続きをしなければ5万円以下の過料の対象になる。

法改正以前に所有している相続登記・住所等の変更登記が済んでいない不動産についても義務化されるため、専門家の助力を得てできるだけ早く登記を行う必要がある。

令和8年4月1日施行予定

現在、遺産分割協議で長引くケースは相続取り分に折り合いがつかないケースです。令和5年4月1日より前に発生した相続も対象となり、猶予期間は令和10年3月末までありますが、お早目の手続きを推奨します。

※相続開始時期によって猶予期間も変わるので注意が必要です。



地権者サポート担当では、地権者様に関係する変更を承っています。転居・住所表記変更・新連絡先登録・第二連絡先の登録や変更、契約者様の変更(相続・贈与・売買・信託)等有りましたら、こちらにご連絡ください。

ダイナムビジネスサポート 資産管理部 地権者サポート

TEL: 03-5850-3679 FAX: 03-5850-3709

受付は平日(月~金) 9:30~17:30 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里五丁目15番7号 ダイナム総合投資ビル3F
✉ chikensya@dynam.co.jp

QRコードからも送れます



グループ通信とは

DYJHグループの企業理念は「信頼と夢を育む百年の挑戦」です。信頼関係者の皆様との信頼関係により、企業の営みができています。今後も大切な皆様とのコミュニケーションを通じて、絆を深めていきたいと考えており、定期的に企業情報をお届けする冊子としてグループ通信を発行しています。

INFORMATION

DYJHグループ

お問い合わせ先

ご意見・ご要望をお待ちしております。下記の番号にお気軽にお電話ください。

地権者の皆様

(株)ダイナムビジネスサポート
資産管理部 地権者サポート担当

03-5850-3679

保険のご案内

(株)ピーインシュアランス
保険代理店 お問い合わせ

0120-815-730

住まいへの補償などお気軽に
ご相談ください。

採用に関して

(株)ダイナム
人材開発部 採用担当

0120-33-8197

chance@dynam.co.jp

入社を希望される方からの
ご連絡をお待ちしております。

出店用地に関して

(株)ダイナム
店舗開発部 店舗開発担当

03-5850-3674

土地、建物、SC及び
居抜き物件やM&Aについて
ご連絡をお待ちしております。



アンケートのお願い

DYJHグループでは、皆様のご意見やご要望を今後の誌面づくりの参考にさせていただきたく、下記サイトでアンケートを実施しております。信頼関係者の皆様との絆をより深めていくため、皆様のお声をお待ちしております。

アンケートはこちらから →

<https://forms.gle/67PxK1XvFJeurckD7>



個人情報の取扱い・利用目的について

- ・ご記入いただいた個人情報はお問い合わせの回答などのご連絡のためにのみ利用いたします。
- ・当社の個人情報保護方針は、当社ホームページをご覧ください。